

◆新技術定着試験

シラヒゲウニ地蒔き式養殖試験Ⅱ

與那嶺盛次

1. 目的

シラヒゲウニ(以後ウニとする)は、本県ウニ漁業唯一の対象種であるが、近年乱獲等により資源が減少し市場価格が上昇している。また、高価格であるためより漁獲圧が高くなり、資源がなかなか回復しない側面もある。

そこで、昨年度に引き続いて生産したウニ種苗を用いてホンダワラ藻場における地蒔き式養殖試験を実施した。

2. 材料及び方法

使用したウニ種苗は、具志川磯根資源活用研究会が簡易種苗生産施設で生産した平均殻径37.0mmのウニ種苗1,334個であった。

試験場所は、地蒔き式養殖の漁業権が取られている具志川地先のホンダワラ藻場であった。そこに鉄筋とロープで10m角に印をし、平成18年6月13日ウニ種苗1,334個を放養した。

養殖期間は、平成18年6月13日から10月10日までの120日間であった。養殖期間中3回、毎回各50個体の殻径を測定した。

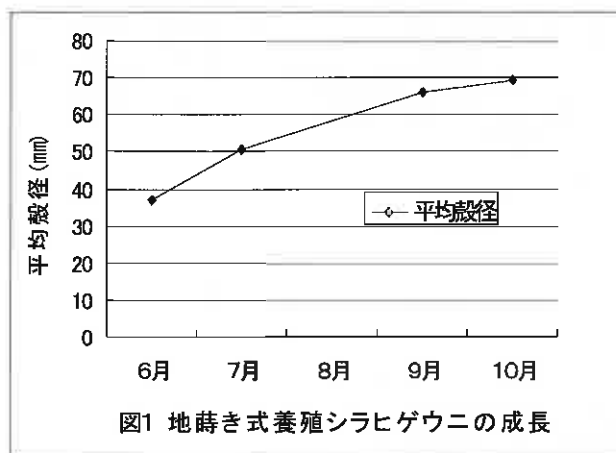
3. 結果及び考察

養殖期間中の成長を図1に示した。平均殻径37.0mmのウニ種苗が、約4ヶ月間で平均殻径69.1mmに成長して出荷サイズになった。

平成18年7月11日放養場所から約20mの範囲に移動したウニ184個を放養場所に戻した。

9月7日放養場所から約20mの範囲に移動したウニ273個を放養場所に戻した。ホンダワラが繁茂し餌料が十分にあることからウニの移動距離は短かった。周辺にはまだ多くのウニが残っていた。

10月4日から10月10日までの5日間取り上



げを行った。取り上げ数は1,013個で、生残率75.9%であった。取り上げた961個を生ウニ加工業者をとおして県漁連市場に出荷した。生ウニは、162パック(1パック100g)であった。県漁連セリ価格は1,500円~2,300円/パックで、平均2,026円/パックであった。販売金額は228,266円であった。ウニ1個当たり342円となった。ウニ1個当たりの身入りは16.8gであった。仲買の評価も良好であった。

4. 要約

- (1) 平均殻径37.0mmのウニ種苗が、約4ヶ月間で平均殻径69.1mmに成長して出荷サイズになった。
- (2) 種苗1,334個を放養し、取り上げ数は1,013個で、生残率75.9%であった。
- (3) その内、961個を生ウニに加工し、県漁連市場に試験出荷した。セリ価格は平均2,026円/100gで、評価は、良好であった。

5. 今後の課題

- (1) 養殖歩留まりの向上



①シラヒゲウニ簡易種苗生産施設



②シラヒゲウニ種苗



③地蒔き式養殖試験海域



④養殖試験場所のホンダワラ藻場



⑤養殖試験中のシラヒゲウニ



⑥取り上げた地蒔き式養殖ウニ

◆
1.
辺
への
殖
その
る。
洋
天
作
ては
流
効
2.
始
に
一
月
よ
中
先
殖
て
照
た
0
を
3.
示